

2022 年度 岩国めぐみ幼稚園 学校評価

1. 園の教育目標

共に生きていくために必要なことが形成されていく最も大事な時期の幼児期。幼い子どもたちも大人も共に社会の一員として豊かな成長が得られるように願い、次の3項目を中心に保育しています。

- ①キリスト教保育
- ②のびのび保育
- ③自由・総合保育

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・本園の教育方針、指導計画の再確認を行い、内容を検討し、保育内容、施設の改善に取り組む。
- ・研修等を通じ、保育教諭の専門性・資質を向上し、保育に反映する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教育要領、教育課程、子どもの実態を基に指導計画を作成する	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領、キリスト教保育誌を用いて、学年ごとに年間、月間週ごとに保育案を作成し保育に反映させている。また、日々の記録を参考にして子どもの実態を把握し、週案の作成に反映させ、園長や副園長と話し合い加筆、訂正し、ICT化に伴いPC入力する。
保育教諭の資質、教育の向上のために研修等を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年も感染防止のために、研修会が中止や延期になる事が多かったが岩国私立幼稚園協会主催の研修会に参加することが出来た。また、処遇改善Ⅱに関するオンライン研修を対象者は受講した。オンライン研修が増え、良い点もあるが、「感染症が落ち着いたら直接、講師の先生からお聞きする研修会に参加したい」と言う研修報告が今年も多かった。しかし、産休、育休の先生方は、オンラインの研修が自分の好きな時間に受けられることが出来、良かったという声もあった。 ・園内での研修を2か月に1回行った。危機管理、衛生、支援について、日々の保育を振り返り話し合いを重ねた。保育教諭が同じ場で話し合い、共有できて良かった。 ・職員会議に加え、各行事や日々の反省や気付きを保育後に話し合い、保育教諭1人1人の資質の向上につなげている。
外部講師による研修	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回、広島よりダンスの先生を招いてリズム遊びを行う。3歳児以上を対象に、クラス毎にリズム遊びを通してステップや身体の動きを学んだ。年長組は4月よりダンスに取り組み10月の運動会で披露した。感染防止の為休みの月もあったが、子どもたちは音楽をかけると体を躍らせてダンスを楽しむ姿が多く見られた。年長児は、岩国錦帯橋空港のイベントでも披露し、1年間色々な場面で披露することが出来、保護者も喜ばれた。次年度もダンスを続ける。

<p>外部講師による研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音遊び「ジェンベで遊ぼう」も4年目。ジェンベ(アフリカの太鼓)を使ってのリズム打ち、アフリカの言葉で挨拶、アフリカの遊びや音楽など、子どもたちや先生方にも好評で、2カ月に1回行う。しかし今年もコロナウイルス感染防止のためにお休みの月もあったが、ジェンベをたくさん用意していただき、10人ずつで、思いっきり楽しんで叩くことが出来た。7月空港イベントと一緒に参加していただいた。
<p>子育て支援の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の預かり保育を実施し、保護者の急な用事にも対応する。7:30-8:30の早朝保育も利用があり、保護者にも好評であった。 ・今年もひよこハウスは、4月から0歳児入園希望者がなく、その後、産休に入る保育教諭がいたため、0歳児の受け入れをせず、1歳児と2歳児は常に定員いっぱいの状態で保育を行った。今年も入園問い合わせが多くあり、ほとんどお断りした。 ・月2回の未就園児親子登園も幼児体操や園庭開放など、年間計画を立てたが、新型コロナウイルス感染防止のため今年度も休会した。
<p>子どもたちへの安全教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスで、年間の健康と安全の計画を立てる。火災はもちろん地震、水害、台風、感染症等の避難訓練を行った。火災の訓練の際には、岩国地区消防組合中央消防署の署員の方に年2回来園していただき、避難、消火訓練の指導を受けた。子どもたちは、緊急放送の聞き方や避難の仕方も回数を重ねるごとに上手になっている。緊急でない場合も、放送前のチャイムを鳴らすと遊びを中断し放送を静かに聞くことが出来た。これは毎月の訓練の成果だと思う。 ・防犯への取り組み、災害に備えたマニュアルの見直しをするとともに保護者との連携をどのような形でとるか、検討する。非常食の備蓄も少しずつ増やしており、有効期限を表示し保管している。低年齢児が食べることが出来る物や非常食の種類を増やしていきたい。 ・岩国市交通安全対策室による学期ごとの交通教室は、新型コロナウイルス感染防止のため年長児を対象とする会となり、年3回行う。 ・JR西日本岩国運転室の方々による年1回の踏切事故防止教室は、感染状況により2年間お休みだったが今年は開催することが出来た。実際に踏切緊急停止ボタンを使って年長組の子どもたちが体験をした。 ・新型コロナウイルス感染の事が毎日のように報道され、岩国市でも感染拡大し、手洗いうがい、消毒の大切さを伝え徹底して行った。また保育室や遊具の消毒を徹底し、トイレもクラス毎に使用し、使用後は必ず消毒を行うようにした。しかし、5月年長すみれ組で新型コロナウイルス感染症が拡大し、クラスターとなった。岩国保健所と相談して登園自粛、その後3日間休園措置を取った。その後も、継続して消毒を行い、3歳以上児はマスクの着用、手指の消毒を徹底して行った。今年、数名のインフルエンザ感染が保護者から報告された。

<p>家庭との連携について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ face book の活用により、ホームページよりも少し軟らかい形で、子どもたちの日々の様子や給食献立を伝えることが出来るように日々更新することを目標にした。保育教諭が1日交代で、自分のクラスや全体の子どもたちのその日の様子を掲載し、たくさんの方に見ていただくことが出来た。 ・月1回、クラスだよりを写真付きで発行した。それぞれクラス担任が工夫し、保護者に伝えたいことも記載し1ヶ月の様子を伝えた。 ・緊急連絡を行うために「JMOBILE」のメールサービスを導入している。山口県からの緊急情報や警察からの情報なども保護者へ情報提供を行った。在園児から卒園児まで広く利用した。 ・感染拡大防止で園での様子を直接見ていただくことが難しく、Zoomを利用して子どもたちの様子を見ていただいた。その際には、「EJMOBAILE」を利用し一斉メールで保護者にお伝えし、祖父母の方にも見ていただくことが出来た。 ・写真ネット販売「ルクミー」は保護者にも好評で、次年度も継続して行い、写真撮影出張サービスも次年度は検討する。 ・年間を通して食育だよりを作成し、外国籍の家庭も含めて全家庭に日本語版、英語版を毎月配布した。郷土料理や行事食も掲載し、外国籍の保護者の方から「参考にして料理を作ってみた」など好評。これからも食育、健康、季節や日本の行事に関して、いろいろな情報を発信していきたい。
<p>環境整備の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園とひよこハウスのそれぞれ園庭に人工芝を施工した。また、人工芝の施工に伴い幼稚園園庭の遊具「さんご」を人工芝の上に設置した。施工完了当初は、子どもたちが自然と運動靴を脱ぎ人工芝の際に行儀よく並べて遊んでいた。遊具もあることから安全面を考慮し運動靴を脱いで遊ぶことはないが、子どもたちの大好きな場所である。ひよこハウスの園庭でも小さい子ども達は午前中の一定時間を人工芝の園庭で遊ぶ。 ・オランダ製エアージム製品のエア―運動器具タイニーパルクールセットを購入。空気を入れてトランポリンやマットのようにして遊ぶ。軽く、持ち運びも負担にならないし、電動空気入れで空気を入れるため成形にも多くの時間がかからない。ひよこハウスのこどもたちは園庭の人工芝の上に並べ、円形トランポリンの上でジャンプや長方形マットの上を橋のようにして渡って遊んだ。以上児クラスでは、保育室内でタイニーパルクールセットを並べ、パルクールの上を橋のようにして渡ってみたり、パルクールを重ねて山を登るような遊びも行う。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果、及び今後取り組むべき課題

- ・今年度も新型コロナウイルス感染症の対策や対応に追われた1年間であった。
今年も、園の行事を見直し、行事1つ1つを検討し、感染対策が可能な行事か否か、岩国市、広島の感染状況も踏まえて行事決定の判断を行った。
園児一人につき保護者1名参加の入園式。例年行っていた野歩さんの園コンサートも中止、年長組の例年のお泊り保育は、今年もデイキャンプへ変更。行事も変更や中止が多かった。10月の運動会は、「帝人会館」をお借りして、3歳以上児でクラス毎に行い、観覧人数制限をして保護者の方に来ていただいた。11月には、3歳以上児の園外保育で徳山動物園に行くことが出来た。12月のクリスマス礼拝は、0歳児から4歳児までは園児のみの礼拝とし、年長すみれ組は、保護者1名に限定してクリスマスページェントを行った。参加者人数を限定しての行事も増え、他に方法がないか模索し、ページェントの様子をZoom配信した。直接園に来ることが出来ないご家族にも見ていただくことが出来、保護者からも喜ばれた。
- ・給食では昨年に引き続き、保育教諭は子どもたちと一緒に食べることはせず、パーティションを使用し、子どもたちの食べている様子を見守ることにした。5月年長組に新型コロナが流行し、クラスターとなってしまった。しかし、教職員は給食を共にしていなかったこともあり、この時、感染することはなかった。園児、保育教諭の検温など、継続して消毒等も行い感染防止に努めたい。
- ・教職員は、各クラスの実態の把握、そこから保育案の作成、実施、反省と一連の流れの中で保育を行うことが出来るように心がけた。その中で園児一人ひとりに必要な援助を研修や園内の協議で分かち合ったことを踏まえ、実施するように努めている。ICT化に伴い導入して1年経ち、全ての立案、保育日誌、子どもの育ちの記録、指導要録などはパソコン入力で行なう事にも慣れてきた。登降園システムにより、園児の登園と降園はすべてカード操作管理を行っているが、打刻忘れがあり、打刻の担当を決め、声を掛け合い、打刻忘れを防ぐようにしたい。また、昨年度より導入したIP無線機を使って、10時以降に全園児の出欠確認を行っている。
- ・研修面では、小規模で保育園部分もあることから、決して多い保育教諭の人数ではない中、保育教諭の資質向上も鑑みて、外部研修が行われる際は特に積極的に参加するようにした。感染防止のため研修会の開催も減り、ネット配信での研修会が多かった。西中国教区幼児施設研修会も開催しなかった。
- ・教職員の労働時間の管理を徹底することとした。通常勤務の教職員では、勤務時間内での1時間の休憩、時短勤務の先生には45分の休憩を取得していただくようお願いした。11月1名、12月1名と2名の保育教諭が産休に入り、保育教諭の人数が少なくなり、休憩も取りにくくなってきた。また、保育教諭がコロナに感染し、保育教諭が休んだ時には勤務時間延長に加えもっと休憩をとることが難しくなった。先生方同士で相談し合い上手く休憩が取れるように協力していただいた。これからも、

5. 学校関係者評価

学校関係者評価委員は上記1～4の自己評価を受け、それぞれの評価は適切であると判断した。
また、今後も、感染症対策を十分に行い、質の高い保育を目指してほしいとの意見が出た。

	男の子	女の子	計
卒園児	7	15	22

卒園後の入学先状況(人)

東小学校	麻里布小学校	川下小学校	岩国小学校	装港小学校	平田小学校	県外小学校	合計
11	3	1	2	2	1	2	22

2022年度 園児在園状況 3/25 現在

組名	1号利用(幼稚園)			2号利用(保育園)			3号利用(保育園未満児)			合計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
すずらん							0	0	0	0
たんぼぼ							3	3	6	6
うめ							5	3	8	8
もも	3	3	6	5	7	12				18
ゆり	5	5	10	8	5	13				23
すみれ	2	6	8	5	9	14				22
計	10	14	24	18	21	39	8	6	14	77

通園状況(人)

岩国市	75
大竹市	1
和木町	1

2023年度 園児在園状況予定 3/25 現在

組名	1号利用(幼稚園)			2号利用(保育園)			3号利用(保育園未満児)			合計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
すずらん							0	0	0	0
たんぼぼ							2	1	3	3
うめ							3	3	6	6
もも	2	4	6	5	3	8				14
ゆり	3	4	7	5	7	12				19
すみれ	6	5	11	8	5	13				24
計	11	11	24	18	15	33	5	4	9	66

通園状況(人)

岩国市	64		
大竹	1	和木	1